

円城浄水場の有機フッ素化合物等の検出に係る 町の対応状況等について

- 1 経緯
- 2 原因の究明
- 3 これまでの対応
- 4 今後の方針

1 経緯

●経緯

「令和4年度水道統計調査」において、PFAS*のうちの国の水質管理目標設定項目（PFOS、PFOA）の暫定目標値50ng/Lを超える1,400ng/Lが検出されている旨、10月13日(金)保健所より連絡があり、緊急対応の必要性を指摘されました。

*PFASとは、4700種類以上の人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称で、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）はその代表的なものです。

これらの物質はコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されていますが、どの程度の量で影響が出るのか、いまだ確定的な知見はなく、現在も国際的に検討が進められています。

なお国内ではPFOS、PFOAの摂取が主たる要因と見られる健康被害が発生したという事例は確認されていません。

1 経緯

●水質検査結果

採取日	検査結果	備考
【1回目】(R2)2020年11月4日	800ng/L	暫定目標値 50ng/L
【2回目】(R3)2021年10月27日	1,200ng/L	
【3回目】(R4)2022年10月26日	1,400ng/L	
【追加検査】 (R5)2023年10月16日	速報値 1,100~ 1,200ng/L	

1 経緯

●新たに確認された不適切対応

再発防止策として、改めて過去の検査結果を確認したところ、塩素酸において基準値を超えていたが、対応がなされていない事例が判明し、保健所に報告の上、指導を受け改善対応を行った。

採取日	検査結果	備考
令和5年5月23日	0.20mg/L	基準値 0.6mg/L
8月22日	0.72mg/L	
8月30日	0.73mg/L	
9月20日	1.10mg/L	
10月17日	0.60mg/L	
11月1日	0.42mg/L	
11月2日	0.33mg/L	

2 原因の究明

●水源の調査

県において、水源である河平ダム周辺水域の水質調査を実施

➤ 日山ダム～宇甘川(8地点) 暫定目標値は50ng/L

採水地点		結果
河平ダム 上流	日山ダム	5ng/L未満
	河平川砂防堰堤内	17ng/L
	権現橋上流2 (日山谷川)	5ng/L未満
	権現橋上流1 (日山谷川)	2,000ng/L
	権現橋 (日山谷川)	1,500ng/L
河平ダム		1,100ng/L
河平ダム 下流	山王橋 (日山谷川)	460ng/L
	大下橋 (宇甘川)	15ng/L

県提供資料
(R5.10.25)
(R5.11.10)

2 原因の究明

● 水源の調査

➤ 日山谷川西側の沢とその北側(14地点)

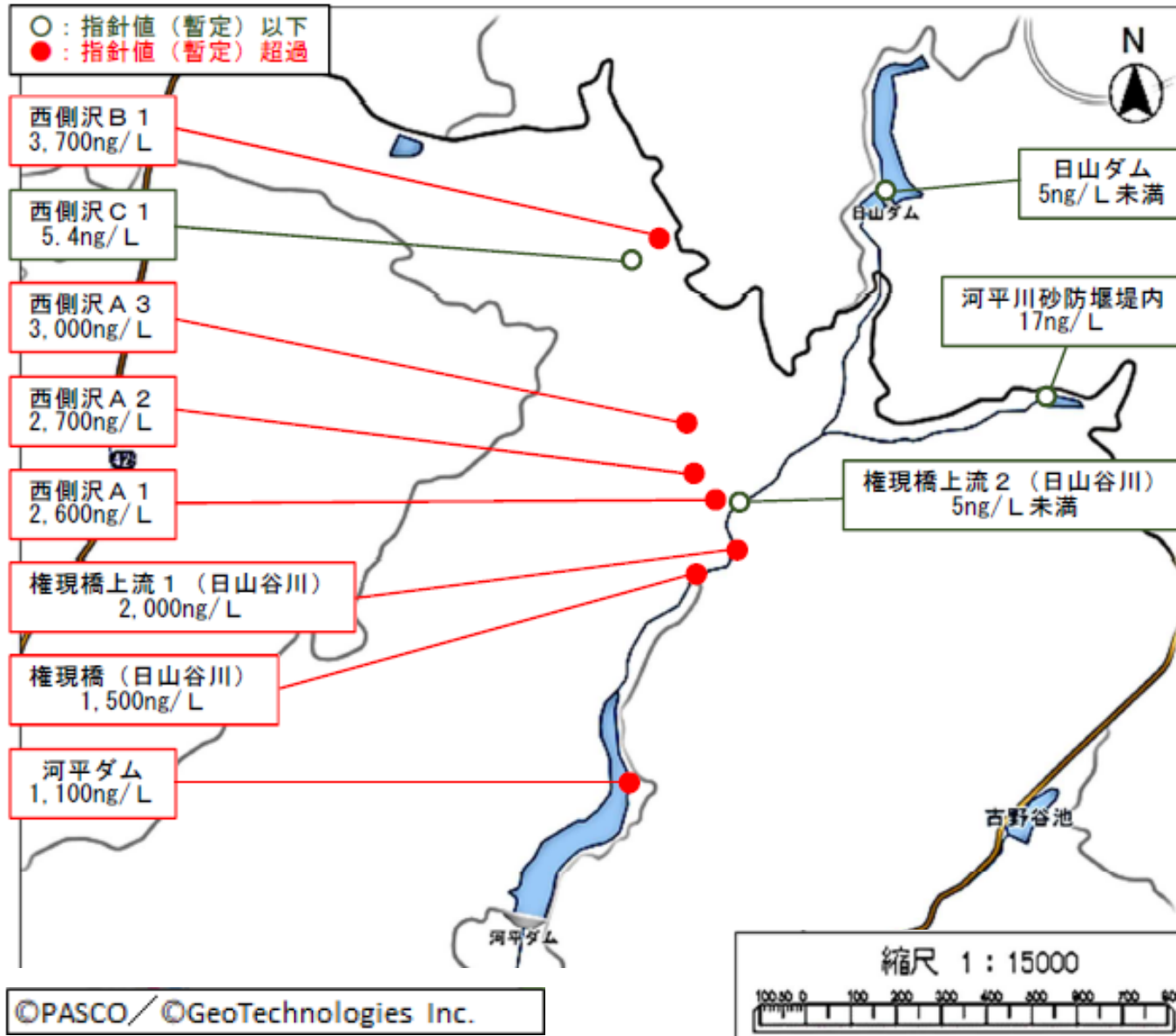
暫定目標値は50ng/L

採水地点	結果
西側沢A 1	2,600ng/L
西側沢A 2	2,700ng/L
西側沢A 3	3,000ng/L
西側沢B 1	3,700ng/L
西側沢B 2	4,600ng/L
西側沢B 3	8.9ng/L
西側沢B 4	15ng/L

採水地点	結果
西側沢C 1	5.4ng/L
西側沢D 1	5ng/L未満
西側沢E 1	14,000ng/L
西側沢E 2	55ng/L
西側沢F 1	62,000ng/L
西側沢G 1	15ng/L
北側沢	5ng/L未満

2 原因の究明

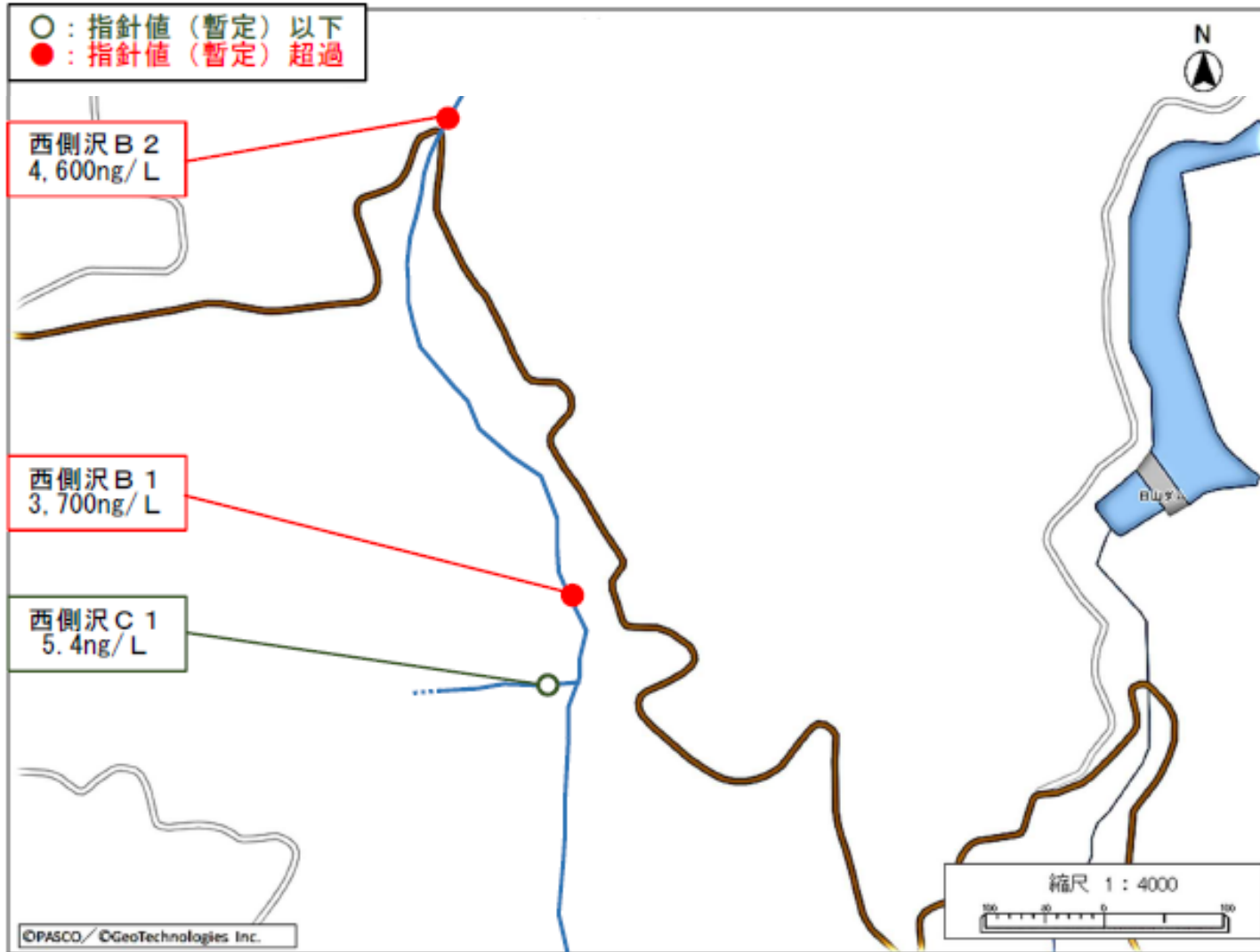
公共用水域の水質調査結果（その1）



県提供資料
(R5.10.25)

2 原因の究明

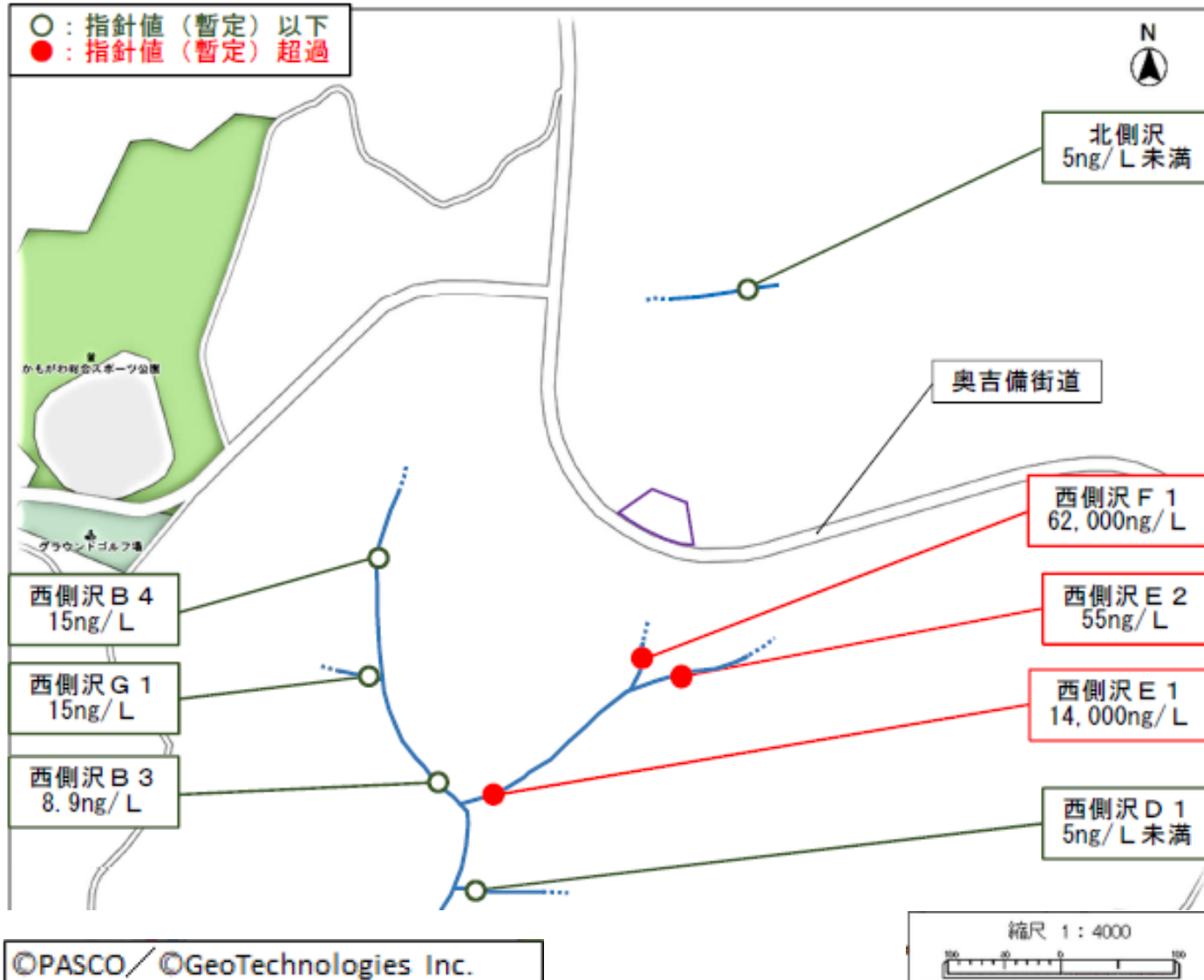
公共用水域の水質調査結果（その2）



県提供資料
(R5.11.10)

2 原因の究明

公共用水域の水質調査結果（その3）



県提供資料
(R5.11.10)

3 これまでの対応

●対策本部会議

10月14日(土)に円城浄水場有機化合物検出に係る対策本部会議を設置した。

●給水活動

10月16日(月)に地域住民の方に、当面の間、飲料水としての利用を控えていただくよう広報するとともに、円城地域6か所に給水所を設置し、給水活動を開始した。

3 これまでの対応

● 円城浄水場の応急復旧

【実施済】

- 河平ダムからの取水を停止
- 日山ダムからの試験取水開始
- 円城浄水場（浄水池）へ、給水車を活用して上水（広域水道企業団）の注入を開始
- 沈殿池の堆積物除去
- ろ過砂及び活性炭の入替等

【実施中・予定】

- 水質検査
- ろ過砂（マンガン砂、敷砂利）の入替
- 配水池等の清掃

3 これまでの対応

●各配水池の水質調査結果(円城浄水場)

採取日	円城浄水池	上田東配水池	細田配水池	案田配水池
10月14日(土)	1,100ng/L			
10月17日(火)	960ng/L			
10月20日(金)	480ng/L	610ng/L		860ng/L
10月21日(土)	500ng/L	490ng/L		820ng/L
10月23日(月)	230ng/L	240ng/L	400ng/L	
10月25日(水)	210ng/L	120ng/L	360ng/L	
10月27日(金)	160ng/L	220ng/L	170ng/L	
10月30日(月)	94ng/L	120ng/L	140ng/L	160ng/L
10月31日(火)	120ng/L	87ng/L	130ng/L	130ng/L
11月1日(水)	6ng/L	36ng/L	130ng/L	120ng/L

引き続き、給水区域全体の水質改善に取り組む。

3 これまでの対応

●各配水池の水質調査結果(円城浄水場)

採取日	円城浄水池	上田東配水池	細田配水池	案田配水池
11月2日(木)	5ng/L未満	5ng/L	94ng/L	58ng/L
11月3日(金)	5ng/L未満	5ng/L未満	21ng/L	63ng/L
11月4日(土)	5ng/L未満	5ng/L未満	10ng/L	52ng/L
11月5日(日)	5ng/L未満	5ng/L未満	6ng/L	45ng/L
11月6日(月)		5ng/L未満	5ng/L未満	39ng/L
11月7日(火)			5ng/L未満	31ng/L
11月8日(水)	5ng/L未満		5ng/L未満	15ng/L
11月9日(木)	5ng/L未満			5ng/L未満
11月10日(金)	5ng/L未満		5ng/L未満	5ng/L未満

引き続き、給水区域全体の水質改善に取り組む。

※順次、配水池等の清掃や水質検査を実施中

4 今後の方針

●部会による取組

対策本部に、5つの作業部会を設置し外部の協力も受け対応する。

○給水部会

給水の復旧に関すること

○健康・相談部会

健康相談、健康観察に関すること

○風評対策・補償部会

風評対策、補償に関すること

○原因究明部会

原因究明に関すること

○総務部会

予算、広報、対外調整等に関すること

4 今後の方針

●給水部会

- 応急復旧を継続し、11月末をめどに、飲料水として利用できる水道水を供給する。
- 飲料水として利用できる水道水の提供ができるまで、給水活動を継続する。
- 速やかに広域水道企業団の上水が、円城地域に供給できるよう、施設整備等に取り組む。

●健康・相談部会

- 外部の有識者等による委員会を設置し、住民等への健康影響を踏まえた対策を検討する。
- 住民等に寄り添った、相談窓口を継続設置する。